

# 自動運転車の国際基準作りに向けた優先検討項目リスト

【別紙2】

- 2019年3月の国連WP29(自動車基準調和世界フォーラム)において、日本及び欧州の共同提案を基に、自動運転車の国際基準作りに向けた優先検討項目リストが合意された。
- 自動運転の枠組み(フレームワークドキュメント)のうち、国際的なガイドラインについては、日本、米国、欧州等各国のガイドラインに基づき、策定が進められており、次回WP29において議論が行われる予定。
- その他の検討項目については、日本が共同議長等を担う各分科会等において、具体的な要件を議論するところ、引き続き主導。

## 優先検討項目リストの概要

|   | 優先検討項目                                                                                                             | 検討体制      |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1 | 自動運転の枠組み(フレームワークドキュメント)<br>(日本、米国、欧州等各国の自動運転ガイドラインに基づく国際的なガイドライン、以下の各優先検討項目の基準策定に向けた検討スケジュール等を含む。)                 | WP29      |
| 2 | HMI、ドライバーモニタリング等自動運転に求められる機能<br>(前後・左右方向の制御、周辺環境モニタリング、ミニマム・リスク・マヌーバー(MRM)、運転権限委譲の要求(TD)、HMI(内部及び外部)、ドライバーモニタリング等) | GRVA※1    |
| 3 | 新たな安全性能確認手法<br>(シミュレーション、テストコース又は路上試験を適切に組合せた新たな試験法)                                                               | GRVA※2    |
| 4 | サイバーセキュリティ                                                                                                         | GRVA※3    |
| 5 | ソフトウェアアップデート                                                                                                       | GRVA※3    |
| 6 | イベントデータレコーダー(EDR)                                                                                                  | GRSG      |
| 7 | データ記録装置(DSSAD)                                                                                                     | まずはGRVA※1 |

※1 自動運転専門分科会 (GRVA) 傘下の自動操舵専門家会議又は新たな専門家会議における検討が想定される。

※2 GRVA傘下の自動運転認証専門家会議において、引き続き検討を進める。

※3 GRVA傘下のサイバーセキュリティタスクフォースにおいて、引き続き検討を進める。

## (参考) 自動運転技術に係る国際基準検討体制

